

INFORMATION

仏事のご案内

ご家族皆様で参加しましょう

12.14

本尊阿彌陀如来三尊仏の沐浴式・御開帳

午前11時から
※御本尊様の御開帳があります。

12.31

除夜の鐘つき

午後11時から法要
※11時からの法要にお集まりください。

1.1-1.3

正月大般若会御祈禱諷經

午前11時から
※御本尊様の御開帳があります。

2.15

涅槃会法要

午前10時から

お知らせ

「写経会」

12月16日(日)と来年2月11日(祝)に実施

第3回写経会が12月16日(日) 午後1時から3時まで行われます。ご都合の良いお時間で参加してください。参加ご希望の方は人数等を寺務所までお電話ください(03-3771-2025)。(参加費用一人千円。写経紙・筆など無料貸出し)

平成25年	年回表
一周忌	平成二十四年
三回忌	平成二十三年
七回忌	平成十九年
十三回忌	平成十三年
十七回忌	平成九年
二十回忌	平成三年
二十三年回忌	昭和五十二年
三十三回忌	昭和五十六年
三十七回忌	昭和五十二年
四十三回忌	昭和四十六年
四十七回忌	昭和四十二年
五十回忌	昭和三十九年
百回忌	大正三年

平成25年

年回表



安 本利正ご住職様、安本由道副住職様により心のこもった人形供養祭が10月21日(日)、リニューアルした梶原殿ホールで厳かにかつ盛大に執り行われました。主催は曹洞宗萬福寺と萬福寺護持会、協力は同ホールの運営・管理を行う㈱JA東京中央セレモニースター。祭壇には、前日から6千体を超える人形が寄せられました。

閉式後は江戸家猫八師匠(四代目)による「芸の心 人の心」と題した講演会が行われました。

※初「人形供養祭」
梶原殿ホール
リニューアルオープン記念

本日は大切にしていただいた人形とお別れ式です。私たちも幸せになりたいし、人形も幸せに終わってほしいという願いが込められています。これからの人生が豊かで幸せとなるように、今日の人形供養祭を身体にとめおけば、広い心ですべてを愛していける、平等の心も育つのではないかと思います。

安本ご住職様の法話
各寺では毎年4月8日(お釈迦様の誕生日)には花御堂を飾って甘茶をかける風習があります。私は、これが(東洋での)一番古い人形の魂ではないかと思えます。そして、人形は私たちの生活に欠かせない存在となっていました。

特に日本では子供を亡くされた母親が、人形をわが子の身代わりとして毎日可愛がっていたというのが人形の先祖であります。私たちの心と人形とは魂が通っています。魂が通っているからこそ、愛情も育まれます。

なお、梶原殿ホールでは、家族葬勉強会、フラワーアレンジメント教室のほか、季節野菜の朝市などの催しを行っています。問い合わせ先 梶原殿ホール(☎03・3774・3030)

ホームページをリニューアル
ホームページをリニューアルしました。本誌「萬福寺だより」創刊号(平成20年秋号)から第10号(23年冬号)まで、ご覧いただけます。
(アドレス www.manpukkuji.or.jp)

鬼 子母神は子育て、子授け、安産、そして災厄を除き福をもたらす守護神として崇められています。

昭和初年頃から行方不明となっていた当山の鬼子母神像の御帰山に貢献された静岡県の岸本家の方々をお迎えして執り行われました。

当日は寺宝の鬼子母神像を身近に拝観し子供達の成長、家内安全、子孫長久を祈願することができました。

※鬼子母神祈願法要
平成24年10月28日(日)



御葬儀・法要の連絡は
萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

※梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

編集後記

今年も残りわずかとなりました。この一年、萬福寺護持会員の皆様には、いろいろとお世話になり、ありがとうございました。

今年の護持会活動は、写経会や大本山總持寺への日帰り研修、萬福寺のホームページ開設、JA東京中央セレモニースター様との人形供養など、今までにない新しい試みが増えました。来年も萬福寺の更なる隆盛を願って、護持会の活発な活動をめざしてゆきたいと存じます。

お寺にも、JA東京セレモニースター様への梶原殿運営委託や副住職様の交代など変更がございました。先号にもアンケートを同封いたしました、護持会員の皆様のお声をぜひお聞かせください(別紙長壽番付うら面)。

新しい年が皆様の幸多き年となりますよう、お祈りいたします。